

松浜付近の流れの調査結果速報 (平成25年7月1～4日)

離岸流及び河口から沖へ向かう表層の流れを確認！

阿賀野川河口から松浜付近の流れをシーマーカー、流向流速計、ブイにより調査を行いました。調査の結果、海は穏やかでしたが離岸流の発生を確認しました。また河口付近の沖合の表層では、河口から沖に向かう流れが、沖に向かうにつれ広がっていることを確認しました。

離岸流についての説明は、[「離岸流」ってなんだろう？](#)をご覧ください。

調査結果

1 離岸流

7月1日に調査し、風も波も穏やかでしたが、松浜海岸の砂浜付近で最大約10m/分、約50m沖まで流れる離岸流の発生を確認しました。

2 沖合いの表層の流れ

7月4日に調査し、河口から沖に向かう北北東～北東の流れがあり、沖に向かうにつれ、広がって流れていました。

3 沖合いの海面下3mの流れ

7月3日に調査し、岸とほぼ平行の西向きの流れを確認しました。

4 その他

監視員やライフセーバーがいる海水浴場を選ぶことも大切です。

また、監視員や地元(海の家など)の方などからの正しい情報で、子供でも安心して遊べる場所を選ぶことも大切です。

海に入る時は、沖へ流されていることに気づくように、周囲を観察するなど、注意しながら遊びましょう

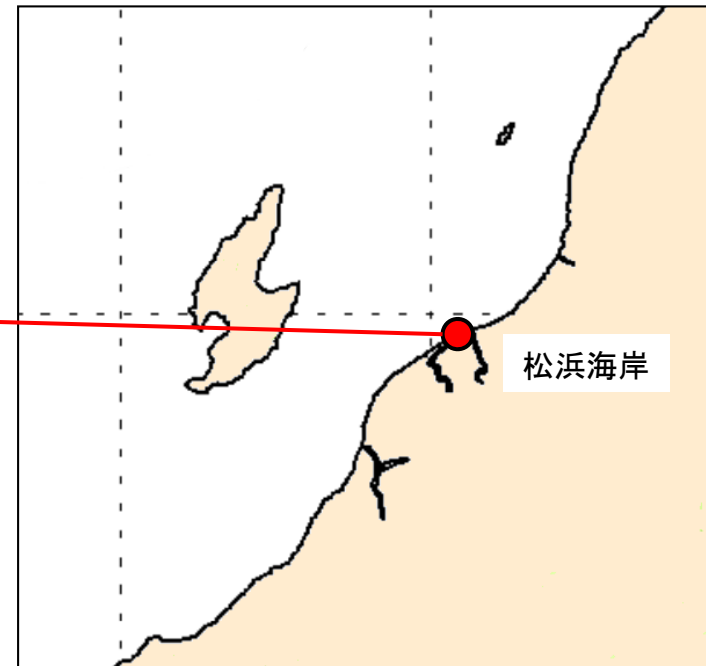
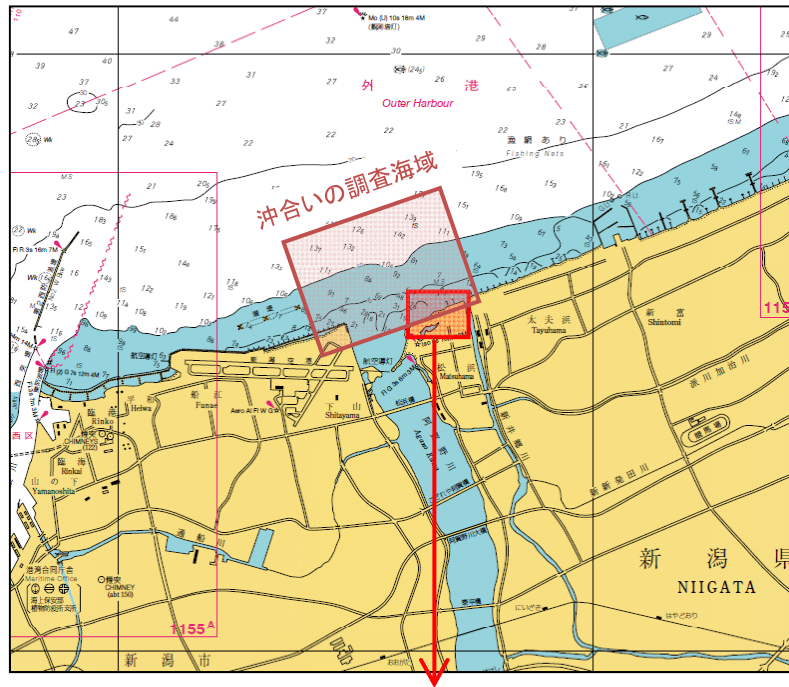
複数で行動し、砂浜等で休憩中の方は、海に入っている仲間を注意して見るようにしましょう。

特に、多くの海水浴客が集まる人気のある海水浴場などは、人混みの中で、子供は保護者を見失ってしまいます。

子供から目を離さないようにしましょう。

[海で安全に楽しく遊ぶために、こんなことに注意しましょう！](#)

調査海域及び調査方法



1 離岸流調査

7月1日の午前(10時~11時)と午後(13時30分~14時)の2回、松浜海岸の砂浜でシマーカーを散布して離岸流の発生を調査しました。離岸流の位置や広がりを確認するため、事前に目印(基1~基5)を、それぞれ約50m間隔で約200mにわたり設置しました。

2 沖合いの流れの調査

阿賀野川河口から松浜付近において、7月3日の10時30分~15時に流向流速計で海面から3m下の流れを、7月4日の10時~15時に漂流ブイ3個を6回(6回目は1個のみ)漂流させて、表層の流れを調査しました。

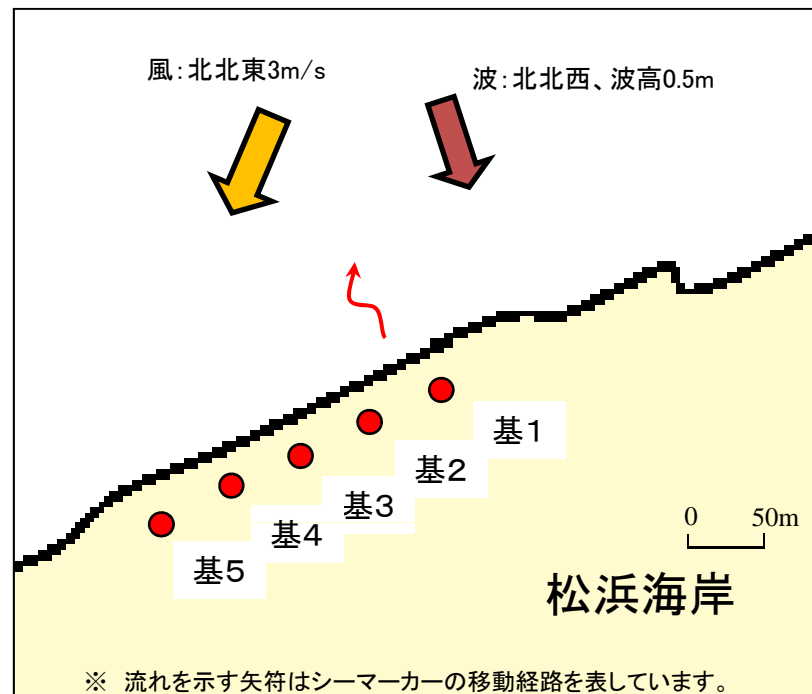
※ 風の観測

調査海域付近に風向風速計を設置して風の観測を行いました。

離岸流調査結果

7月1日の午前と午後、砂浜付近にシーマーカーを散布し、シーマーカーで着色した海水の動きにより離岸流を調査しました。この日は風も波も穏やかでしたが、午前の調査で離岸流発生を確認しました。

7月1日に発生した離岸流(下図の赤色矢印)



離岸流: 一箇所で最大約10m/分、約50m沖まで流れた

観測された離岸流の様子

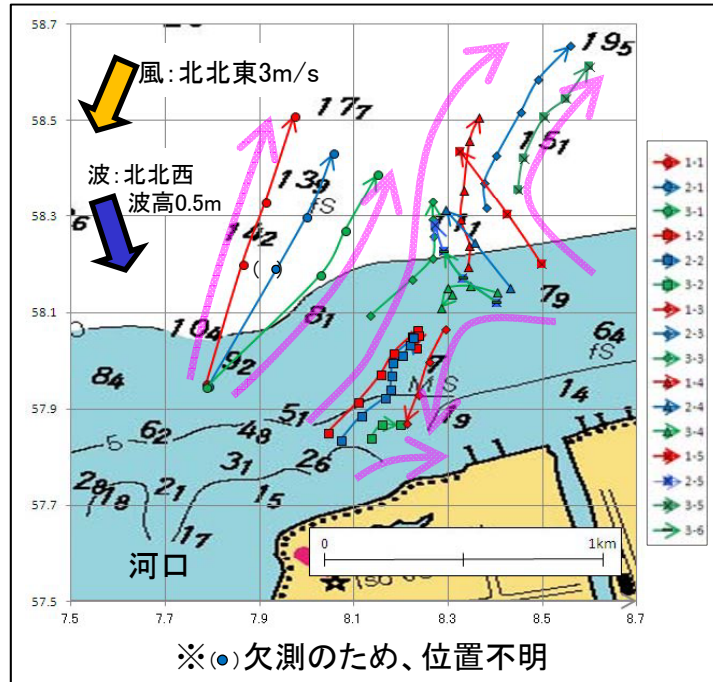


海は穏やかでしたが、離岸流が発生しました。

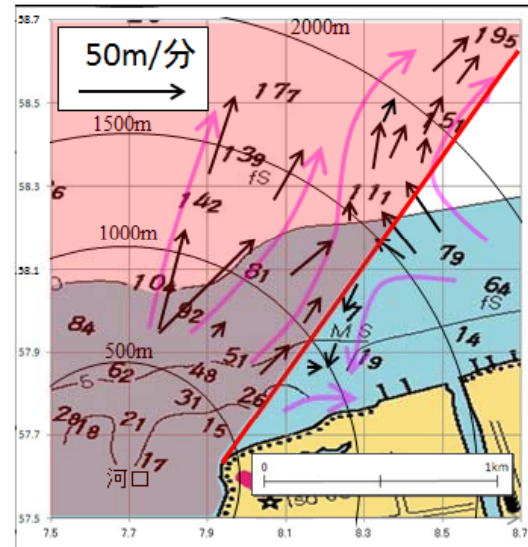
漂流ブイによる沖合の流れの調査結果(ブイの航跡)

7月4日10時～15時にかけて、岸から約200m～1400m沖の海域において3個のブイの放流・回収を6回行い(6回目は1個のみ使用)、10分毎の位置を測定して表層の流れを調査しました。

表層の流れ 7月4日



表層の河口から沖へ向かう流れ

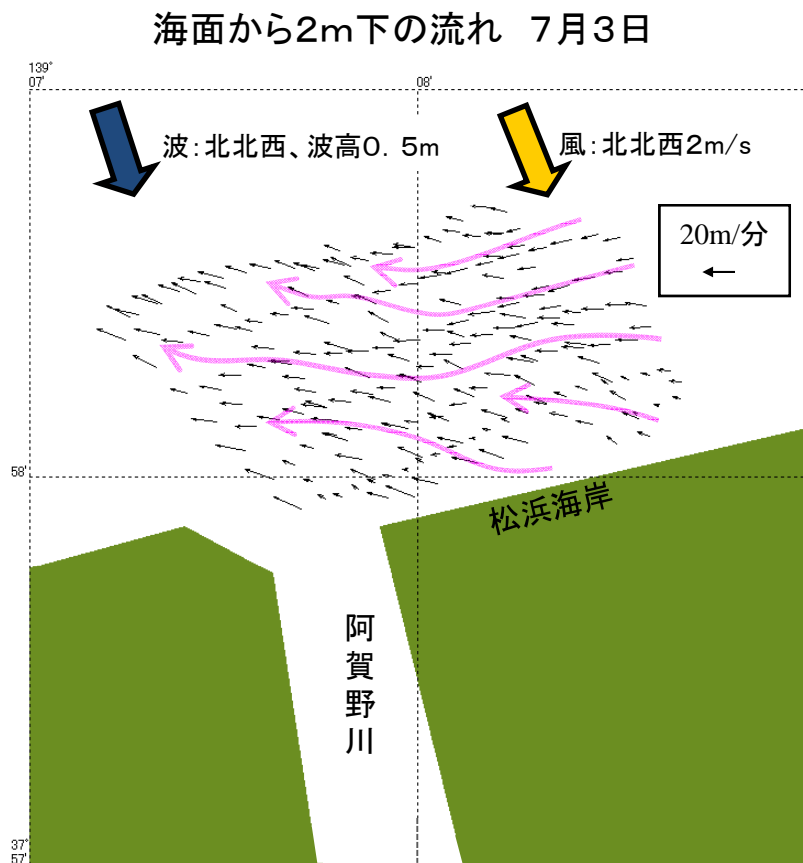


- 1 河口から沖へ向かい北北東～北東に流れ、その範囲は沖に向かうにしたがい、広がっていました。流れの速さは河口寄りの西側のほうが東側より速く、また河口に近いほうが速い傾向が見られました。
- 2 河口から沖に向かう海域の東側には、沖側に東方から沖に向かう流れ、岸側に東方から岸に向かう流れがありました。

表層では、河口から沖へ向かう北北東～北東の流れがあり、沖に向かうにしたがい、広がって流れていました。

流向流速計による沖合の流れの調査結果

7月3日10時30分～15時にかけて、岸から約100m～約1400m沖の海域において、流向流速計を使用して海面から3m下の流れを調査しました。



観測日は違いますが、表層と異なり、主に岸と平行な西向きに概ね15～20m/分で流れていました。河口に近づくにしたが、沖向きの流れになっていました。

海面から3m下では岸とほぼ平行の西向きに流れていました。